

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	歩道等整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	1	4	○
政策	23安全に暮らせる社会システムをつくれます	担当課室	道路河川管理課			
施策	231交通安全の推進	担当課室長	小高仁志			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	通学路整備事業・一般市道整備事業と連携して整備を進める。	③平成26年度に取組む改革・改善内容	第2次歩道等整備5箇年計画の最終計画年となるため、これまでの検証と新計画策定。
②①に基づく取組み結果	通学路整備事業を依頼事業受託し、連携を図り整備を行った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	歩行者と車両の動線が輻輳している箇所	意図(対象をどうするのか)	交通事故の減少
②事務事業の概要	交通安全を推進するため、交差点や歩道等において、道路反射鏡、防護柵等の交通安全施設の整備をすすめ、交通安全の向上を図る。また、道路区画線の設置やカラー舗装などを行い、道路における歩行者の歩行空間の確保を図る。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	市民意識調査にて、交通安全対策への不満足度は40%、重要度は82.8%と市民の関心は高い状態にあり、事故死傷者数は昨年度に比べ減少している。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	(1)交通安全施設整備(①道路標識設置:1基、②道路反射鏡設置:15基 等) (2)グリーンベルト実施箇所(①市道2753号線、②市道3651号線)						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	交通事故発生件数	544	535	487	件	業務取得
	ii	人口千人当たりの交通事故死傷者数	5.9	5.9	5.3	人	業務取得
	iii						
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳			平成26年度予算	
事業費(千円)	20,520	19,942	金額(千円)	内容		20,572	
国支出金(千円)			286	委託料			
県支出金(千円)			19,657	工事請負費			
市債その他(千円)							
一般財源(千円)	20,520	19,942				20,572	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	歩道設置には予算と時間が必要なため、本事業による新規対策箇所は増加すること及び対策済み箇所の維持管理費用も増加することが予想される。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	道路の機能管理面から安全確保をする責務があるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	道路区画線、道路反射鏡・防護柵等の設置、交通立看板の作製	平成25年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	道路区画線、道路反射鏡の整備、道路標識・交通看板整備	20,000	20,000	当初	20,000	19,942	H24からの繰越	0
				H24⇒25繰越	0		現年分	19,942
③達成状況	完了			補正	0			
④未完了・非着手の理由				流用・充当	0			
				平成26年度への繰越額(単位:千円)	0			

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	交通安全施設更新事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	1	4	○
政策	23安全に暮らせる社会システムをつくれます	担当課室	道路河川管理課			
施策	231交通安全の推進	担当課室長	小高仁志			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	交通安全施設全般にわたり更新する必要があるため、道路付属施設等の更新も適宜実施する。	③平成26年度に取り組む改革・改善内容	道路付属施設のうち、大型案内標識の点検調査を行う。
②①に基づく取り組み結果	道路証明灯点検調査を行い、劣化が著しい照明灯の補修・更新を行った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	道路照明灯・道路反射鏡等の安全施設	意図(対象をどうするのか)	更新を行い、全ての人々が安心して、道路を通行できるようにする。
②事務事業の概要	市道に設置されている交通安全施設のうち老朽化、危険性のある、機能低下した道路照明灯及び道路反射鏡を順次更新し、安全性の確保ならびに向上を図る。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	道路施設の点検が法令で義務化されるなど、老朽化対策として事後保全型から予防保全型の維持管理方式への転換に対応する必要がある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	道路照明灯の本体、器具、部品等の経年変化による老朽化が認められた7基の更新を実施した。						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	交通事故発生件数	544	535	487	件	業務取得
	ii	人口千人当たりの交通事故死傷者数	5.9	5.9	5.3	人	業務取得
	iii						
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳			平成26年度予算	
事業費(千円)	4,462	10,803	金額(千円)	内容		7,175	
国支出金(千円)		3,300	7,381	道路照明灯調査委託			
県支出金(千円)			3,423	交通安全施設整備工事			
市債その他(千円)							
一般財源(千円)	4,462	7,503				7,175	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	市民要望やパトロールにより随時行う補修・更新と並行して、老朽化対策として事後保全型から予防保全型の維持管理への対応。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	法定管理者の責務として機能維持に努めることが必要なため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	道路照明灯更新、道路反射鏡更新、道路照明灯調査	平成25年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	道路照明灯調査・工事	7,000	11,426	当初	7,000	10,803	H24からの繰越	7,380
				H24⇒25繰越	8,000		現年分	3,423
③達成状況	完了			補正	-2,000			
④未完了・非着手の理由				流用・充当	-1,574			
				平成26年度への繰越額(単位:千円)	0			

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	道路維持補修事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	2	2	○
政策	32都市活動を支える交通網整備を進めます	担当課室	道路河川管理課			
施策	321安全でゆとりある道路の整備	担当課室長	小高仁志			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	道路整備後、長年経過している道路が多く、劣化、損傷等が著しいためパトロール業務により適正な管理を進める。	③平成26年度に取り組む改革・改善内容	法定点検に対応するためのしくみ検討。
②①に基づく取り組み結果	道路パトロールを実施し、劣化箇所の補修を行った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	老朽化し、損傷した市道の舗装及び道路付帯施設	意図(対象をどうするのか)	市民の安全性・利便性の確保
②事務事業の概要	道路の適正な維持管理を行うため、補修工事、清掃などを行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	道路施設の点検が法令で義務化されるなど、老朽化対策として事後保全型から予防保全型の維持管理方式への転換に対応する必要がある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	主に9つの業務を行うことにより、安全性の確保、道路の耐用年数の延伸、道路構造の強化、道路環境の保全などの成果を得た。						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	「道路の状況」満足度	16.3	16.3	14.5	%	市民意識調査
	ii	道路パトロール日数	104	104	128	日	業務取得
	iii						
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳			平成26年度予算	
事業費(千円)	137,248	268,715	金額(千円)	内容		204,015	
国支出金(千円)	12,087	83,320	742	道路愛護活動報償		66,987	
県支出金(千円)			26,000	道路補修・清掃委託			
市債その他(千円)			205,032	舗装、側溝補修等			
一般財源(千円)	125,161	185,395	16,000	排水管(溝)清掃委託		137,028	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	市民要望やパトロールにより随時行う補修・更新と並行して、老朽化対策として事後保全型から予防保全型の維持管理への対応。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	法定管理者の責務として機能維持に努めることが必要なため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	道路及び排水管の清掃、維持補修工事・道路施設の点検	平成25年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	道路及び排水管の清掃、維持補修工事・道路施設の点検	248,368	281,099	当初	120,021	H24からの繰越	18,606
				H24⇒25繰越	25,500		
③達成状況	未完了			補正	128,347	現年分	250,109
④未完了・非着手の理由	道路施設の点検において国交付金を活用するため			流用・充当	7,231		
				平成26年度への繰越額(単位:千円)		4,000	

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	流域環境整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	3	2	〇
政策	22快適な暮らしの環境をつくります	担当課室	道路河川管理課			
施策	223うるおいある河川・水路の整備	担当課室長	小高仁志			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	異常気象により局所的な大雨が多くなることが予想されるため、さらに河川・水路の整備や維持管理を実施する。	③平成26年度に取り組む改革・改善内容	現状施設の機能維持及び転落による事故防止のための柵の設置を行う。
②①に基づく取組み結果	パトロールや住民要望により、河川・水路の除草、清掃、補修を行い現状施設の機能維持に努めた。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	河川、水路、調整池	意図(対象をどうするのか)	施設の機能維持
②事務事業の概要	河川・水路の適正な維持管理を行うため、補修・清掃などを行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	施設の老朽化が進んでおり、大規模な修繕とともに、施設を長持ちさせるための対策が見込まれる。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	主に4つの業務を行うことにより、流水機能の保持、安全性の確保、悪臭防止などの環境の保全、水害の防止などの成果を得た。						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	河川・水路に対する満足度	11.1	11.1	13.8	%	市民意識調査
	ii	河川・水路除草面積	50,164	50,164	50,164	m <sup>2</sup>	業務取得
	iii						
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳			平成26年度予算	
事業費(千円)	24,857	35,729	金額(千円)	内容		64,324	
国支出金(千円)			20,357	防護柵設置等			
県支出金(千円)			2,600	スクリーン清掃委託			
市債その他(千円)			7,732	河川管理委託			
一般財源(千円)	24,857	35,729	3,928	水路河川・水路清掃等		64,324	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	施設の老朽化に伴う大規模な修繕や長持ちさせるための対策。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	法定管理者の責務として機能維持に努めることが必要なため					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	排水施設自動通報装置運営 河川水路の維持工事等	平成25年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	河川・水路の維持工事	50,476	55,474	当初	50,476	35,730	H24からの繰越	0
				H24⇒25繰越	0		現年分	35,730
③達成状況	未完了			補正	0			
④未完了・非着手の理由	入札不調			流用・充当	4,998			
				平成26年度への繰越額(単位:千円)		19,600		